

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	市立病院介護老人保健施設運営事業	会計	老健施設	事業No.	612	施策順No.	35-049
		事業種別	政策・その他	予算科目	1-1-1-1-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	市立病院介護老人保健施設		
施策	35 高齢者福祉の推進			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	入所・短期入所・通所等の利用者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		入所定員:ベッド数	50	50	50	50	60	
		通所定員:人数	20	20	20	20	25	
	意図	介護を必要とする高齢者に安全安心なケアを提供する						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	施設入所利用率:% 入所利用者数/入所定員	94.4	88.3	94.2	95	94.8	95	B
	通所利用率:% 通所利用者数/通所定員	86.9	90.5	88	85	85.3	85	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	22年度は、新施設移転により入所定員を10月から50人を60人に増員し、ほぼ満床に近い利用があった。通所は、半日通所の廃止や新施設移転に伴う休業等が一時的にあったため、前年度より若干の利用率の低下が見られた。							

2 手段(具体的な取組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	市立病院介護老人保健施設は、22年10月から入所定員を50人から60人に増員し、在宅生活への復帰を目指し、機能訓練により、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことを目指している。入所希望者は、申込により施設内入所判定会において協議決定し、利用することができる。また、在宅支援事業として、通所リハビリテーション事業を、定員20名で開設している。22年度から1日(6時間)のみの実施とし、また新施設移転後の利用者拡大に伴い、22年6月から定員を25人として、在宅で生活している高齢者の支援をしている。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<p>1 目標入所利用者数をできる限り95%にする。通所利用者数は利用者の拡大により1日当りの利用者数を確保する。在宅介護支援事業、ケアマネジャー4月から3人、10月から2人体制で実施。</p> <p>2 実績 入所利用者(短期入所含) 19,041人(利用率94.8%、21年度比+0.6%) 通所利用者 4,110人(利用率85.3%、21年度比-2.7%) 在宅介護支援事業 年859件利用(21年度比-142件)</p>	入所・短期入所 通所リハビリテーション 在宅介護支援センター	60床 25人 105名/ケアマネ3人 70名/ケアマネ2人
23年度実施計画	目標入所利用者数をできる限り95%にする。通所利用者数は利用者の拡大により1日当りの利用者数を確保する。在宅介護支援事業、ケアマネジャー2人体制で実施。	入所・短期入所 通所リハビリテーション 在宅介護支援センター	60床 25人 70名/ケアマネ2人

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項 その他…サービス収入、雑入 一般財源…一般会計繰入金 22→23 繰越明許費 2,656千円	
		県支出金					
		起債					
		その他	296,100	313,971	365,400		
		一般財源	169,700	135,468	182,000		
	計(A)	465,800	449,439	547,400			
	正規職員所要時間						
	臨時職員等所要時間						
	人件費計(B)		0				
	トータルコスト A+B		449,439				

4 事業に対する市民や議会の意見

公の施設の使命として、安心安全はもとより安価で利用しやすい施設として地域住民のニーズへの対応が求められている。新施設建設中であるが、新施設としても安価な施設を、との期待は大きい。また、在宅生活支援の核として地域へ発信していくリハビリテーション等の支援施設としての期待も大きい。高松分院の閉院による療養型病床の減少は地域の介護保険利用者の受け入れ施設の減少につながっており、新老健の100床規模での早期開設が望まれている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	高齢者が健やかに安心して暮らせること	施策の成果指標又はムトス指標	安心して暮らせている高齢者(65歳以上)の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのよう貢献しましたか	4年間の振り返り	・当地域は、「高齢化社会」から「高齢社会」へと移行する中で、要介護高齢者とその家族に対する介護支援の必要性が年々高まっており、施設において、入・通所者の有する能力に応じ自立した日常生活を営めるまでの機能訓練や介護支援を行うことで、在宅生活へ復帰に向けた支援を行ってきた。		
	後期に向けた課題	・今後も高齢社会が一層進み、利用者の増加に加えて介護度の重症化や医療依存度の高い入・通所者が増加することが予想されるので、保健、福祉、医療、介護との連携をより進め、新施設を活用しての具体的な施策について検討する必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・施設面では、安心安全な安価で利用しやすい施設として、地域住民のニーズに対応した100床規模の新施設を建設した。 ・入所については、入所期間の調整や空きベッドを短期入所の希望に応えることで、利用率を向上させた。通所については、上郷地区に限らず、旧市、鼎、松尾地区等送迎可能な近隣地区への新規利用者の確保に努めた。		
	後期に向けた課題	・引き続き入所利用率95%以上を確保すると共に、急性期医療を担う市立病院からの患者受け入れ先としての位置付けもあり、市立病院との一体的な運営を行うために今後一層の連携を図る必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・新施設建設にあたり、外断熱工法、オール電化設備を取り入れたり、太陽光発電システムを設置する等して、主に光熱水費、燃料費を中心に大幅なコスト削減を行った。また、清掃業務と施設管理業務を一体化することで委託料の経費削減を図ることができた。		
	後期に向けた課題	・光熱水費を含め、更なる経費全般の節減を進めるために、今後は職員に対するコスト削減への意識改革を行う必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・要介護高齢者及びその家族から、介護保険法に基づき適切に受益者負担(利用料)を行った。		
	後期に向けた課題	・今後も受益者負担(利用料)は、基本的に介護保険法により行いが、入所及び通所の利用率を上げることで市からの繰入金金の減額を目指す。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	・施設運営については、市民や地域が直接関わることはない。		
	後期に向けた課題	・特になし		
全体を通じて	4年間の振り返り	・高齢社会の進行に伴う要介護高齢者の増加や安価で利用しやすい施設としての市民ニーズに対応できる新施設建設をはじめとした施設整備と職員の研修・研鑽による安全安心で質の高い介護サービスの提供により特に入所利用率の向上等の成果が見られた。		
	後期に向けた課題	・新施設が今年度完成し、地域の保健、医療、福祉、介護の拠点施設として、また在宅生活支援の核となる施設として、今後地域住民のニーズが一層高まることが予想されるため、100床に向けた体制の整備と地域や関係機関との連携を密に行うことにより、更に充実した介護サービスの向上に努める。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------